

# あいあいあい

I eye 愛

2017年  
 6月号



2017/4/15 繁殖農家加藤清夫さんの農場にて



のら牛にかける想いを語る皆さん



調印



確認書が締結されました



広大な放牧予定地



パドックでのびのび暮らす牛

## のら牛プロジェクトが再スタートしました

商品部 課長補佐 播磨賢次

今年、「あいコープの畜産」という大きなテーマが走り出しました。その一つが、震災後の一時期から停滞していた「のら牛プロジェクト」を再スタートさせることです。

のら牛プロジェクトの目的は、アニマルウェルフェア（放牧を取り入れて健康に育てること）と資源循環型畜産（自給飼料を与えて糞尿を土に還すこと）を基本に、安全・安心・健康な牛肉を生産し、持続可能な日本型畜産モデルを発信することです。

去る4月15日、田尻あいちゃん牧場に、組合員、生産者と生協職員が集まり、のら牛プロジェクト確認書の調印式が行われました。調印式の前、生産者の農場にもお邪魔しました。

まず、のら牛の繁殖と育成を受け持つ加藤清夫さんの農場を見学しました。ここでは、餌は自家製牧草と稲わらなどでほぼ自給しており、産まれてから9カ月まで親子でのびのびと暮らします。

次に、のら牛の肥育を受け持つ小野寺實彦さんの広大な放牧場予定地を見学しました。ここで、加藤さんと若手生産者の高橋洋介さんが育てた牛が、生後10カ月から30カ月の出荷まで暮らします。

3人ののら牛生産者の発言を紹介いたします。

加藤さん「受胎率を向上させ安定した繁殖を目指します。」

高橋さん「高橋農場にも今年中に牛を放すことができるパドックを作ります。」

小野寺さん「今年中に放牧場予定地に柵と牛舎を設け、来年には整備を完了したい。」

以上のような力強い言葉が頂き、無事に調印式が終了しました。

「のら牛プロジェクト」を成功させるためには、組合員と生産者の継続的な交流によって、理解と信頼を深めていくことが必要です。これから農場見学が企画される予定ですので、皆さんのご参加をお待ちいたしております。

### CONTENTS

- ▶ のら牛プロジェクトスタート …1
- ▶ 「畑に行こう!」/「みんなのi食パントリー」報告 …3
- ▶ 原木しいたけツアー報告 …7
- ▶ 新地区委員さんのきもち …2
- ▶ 今年は地区委員会と生産者がタイアップ交流 …P4-5
- ▶ 生産者さんにあいに行こう 久保田食品 …8

# 新しい委員さんのキモチ♪



しおさい地区  
佐藤晴美さん

委員会の皆さんが快く受け入れてくださり、子連れで行けるところが増えて嬉しいです。楽しかったのもっと参加したいと思いました。また、とても勉強になり、自己啓発のきっかけにもなりそうでありがたいです。

新しく地区委員会に参加した皆さんから参加のきっかけを教えてくださいました。皆さんも地区委員会に、遊びにいらっやいませんか？



交流会に参加した際に、みなさん仲が良く、楽しく活動されているのを見てやってみようかなと思いました。もともと九州出身で、宮城にはあまり知り合いもいないので、様々な世代の方とも知り合いになれると言うのも、きっかけのひとつです。まだまだ入りたてのほやほやで、わからないこともたくさんありますが、面白いことをみなさんと企画できたらと思っています。



仙南地区  
笠田舞さん

あいコープを始めて約3年になりますが、「せっかくあいコープを利用しているのだから、もう少し活用できたら」と思い、何度か講座に参加させていただきました。そんな中、もっと色々知りたいな♫と思っていたところ、今回地区委員に声をかけていただいて、とても嬉しく思います。これから、商品のことを勉強したり、情報交換をしたり、より良いものづくりに参加していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

地区委員になったきっかけは食育コンダクターの講座を受けたことです。生産者さんや食に深く関わる方々の興味深い話を聞くことによって、もっと生産者さんと近づきたい、もっと知りたいという想いが出てきたためです。委員としての活動はこれからですが、「本当に身体が喜ぶ食」にこれからも関わっていき、そして地区の活動を通して、より生産者さんを応援していけたら、と思っています。



泉B地区 熊谷麻衣子さん



青葉A地区 斎藤薫代さん



4月22日 「畑に行こう！」第一回ジャガイモ種芋植付 報告

# 初めての農作業に、いざ、畑へ。

『食と農』を大切にしているあいコープみやぎは、組合員の皆さんが農業の現場を体験・体感して、地域で存続させる食の循環を知っていただくための催しを展開しています。

その一つが「畑に行こう!」。年間登録した家族対象のイベントで、仙台市若林区の七郷みつば会の畑の一角をお借りして運営しています。

4月22日。2017年度第1回目「畑に行こう!」は、ジャガイモ種芋の植え付けからスタートです!募集定員を大きく超える応募者の中から抽選で選ばれたご家族が続々と集まりました。

運営を委託している仙台えんのう倶楽部のスタッフさんから、まずはやり方を教えてもらいます。ビニールの穴あけ作業をポコ



今年の「畑に行こう!」は4月から11月まで計8回、さつまいも、落花生、秋大根に挑戦します。



畑からガレキをみんなで拾い集めました。

ポコやって、種芋の切った部分を下に向けて穴の中に入れて、穴あけの際に掘り起こした土を種芋にかけてあげます。子どもたちはスタート前から気合充分で待ちきれない様子でした。

「種芋ってジャガイモ?種じゃないんだ!」「穴あけ僕やるー!」

作業が終わっても子どもたちのパワーは衰えず、隣の次回予定のサツマイモを植える畑のガレキ拾いをしてもらいました。畑のある七郷一帯は津波で一度は使えなくなるところ。震災後6年経った今も、耕した後にはガレキが出てきます。石やガラスをバケツにドンドン運んでもらい、あつという間に畑がキレイになりました!次回も楽しみですね!

事業部職員 青木彰子

## 大好評! みんなのi食パン



新PB食パン「みんなのi食パン」がデビューして2か月が経ちましたが、みなさん、手に取っていただけましたか?「みんなのi食パン」は組合員とパン工房わ・は・わが約1年かけて何度も試作・試食と協議を繰り返して、やっと完成した食パンです。しっとりふわふわで、トーストはもちろん、そのままでも美味しい、小麦とバターが楽しめる自慢の食パンです。

### 「美味しい!」の声がぞくぞく!

デビュー週の注文数はなんと3,373袋!それ以前の食パンは1週間です。本当にありがとうございました!

お届け日から早速コールセンターに「美味しい!」の声が続々と届きましたので、少しご紹介したいと思います。

- ◎「しつとりして食べやすい!」
- ◎「子供達がものすごい勢いで食べていました。これからは毎週注文したいと思います!」
- ◎「こんなに美味しい食パンがこの価格で買えることに感謝です!」

他にもたくさんありましたが、そちらについてはまた通信でご紹介していきますね。大好評の新PB食パン「みんなのi食パン」まだの方はぜひ一度お試しください。

商品部職員 後藤洋文



# 地区委員会では、地元生産者としっかり交流。生産者と商品の魅力を十分に伝えていきます！



今年度は、地区委員会と地元生産者がペアを組んで活動をします。委員だからこそ訪問できる産地もたくさんあるので、一年じっくり交流や学習をしてWa!わぁ祭りや地区ニュースを通して生産者と商品の魅力を皆さんに伝えて行きます。



## 青葉B地区 & 高橋徳治商店



ぜひ工場をみてみたい！と、8月下旬～9月上旬に工場見学を予定しています。お祭りでは高橋徳治商店さんとともに組合員さんとの交流が楽しめるよう、ブースを盛り上げて行きたいです！

青葉B地区担当理事 安部 有理

## 青葉A地区 & 菅野食品



まずは5月に蒲生地区にある工場を、しおさい地区と共に工場見学し、安全と美味しさを両立させているお豆腐の秘密に迫りました。お豆腐を活用させるお料理に地区委員も興味津々。料理教室などの開催を通してお豆腐の新たな魅力を発見する一年間にしたいと思います。

青葉A地区担当理事 牧 梓咲

## 泉B地区 & 米沢郷牧場



米沢郷牧場は山形・置賜地区の為、夏休みを利用して8月に訪問ツアーの実施を予定しています。地区委員の皆さんも初訪問の方が多く、しっかり学んで、お祭りに反映させたいと思います！

泉B地区担当理事 原子 良恵

## 泉A地区 & 間宮商店



泉A地区は2月の「みんなであいごはん」で間宮商店さんの商品を味わったばかり。その美味しさの秘密をすぐにこの目で 見たい！と思い、4月21日に塩釜の工場見学をしてきました。6月2日にも第2回見学会を行い、お祭りで来場者に十分魅力が伝えられるよう、委員みんなで知恵をばわっているところです。おたのしみにも！

泉A地区担当理事 後藤 咲子

## 太白地区 & 花兄園



大崎市鹿島台に新しく出来た GP センターと大和町にある養鶏場の見学や、大須賀社長をお迎えしての料理教室も計画しています。花兄園さんの魅力を再発見できる企画や情報発信をしていけたらと思っています。Wa!わぁ祭りでは、毎年行列が出来る花兄園のブースで地区委員のみなさんとお手伝い出来るのが今から楽しみです。

太白地区担当理事 石川 佳名子

## 石巻地区 & 小牛田のいちご



5月いっぱいはいちごの収穫が最盛期なので、お仕事が一段落したところで、交流に行きたいと思っています。いちごになっている畑を子供たちと見に行きたいです。美味しいいちごを使ったパンやデザートレシピを開発し、お祭りで提供したいと考えています。

石巻地区担当理事 辻 朗子

## 仙南地区 & まるご食品



工場は震災後移転され、名取市内の国道沿いにあります。以前から気になっていたまるごさんなので、早速5月中旬に工場見学に行きました。また、おいしいだし汁のとり方を伝授していただく企画なども計画していきます。

仙南地区担当理事 三浦 一枝

## しおさい地区 & 大郷みどり会



新たな取り組みとして「地区交流畑」でさつまいもの栽培をします。5月の苗の定植から収穫、試食までを一貫して行います。夏休みには子供たちと一緒に作業体験をし、欠品の理由や虫との戦いなどの謎に迫ります。「優ぼらんど」を目指して、ネオニコチノイド系農薬削減にいち早く取り組んだことについても学習していきます。

しおさい地区担当理事 阿部 麻利子

## 若林地区 & 七郷みっば会



若林区地元生産者ということで、季節ごとに「見て・体験して・理解する」を意識した交流をします。実際に畑での作業をしながら、生産現場を体感できる機会を持ちたいと思います。また畑の一部をお借りして、実際に自分たちで野菜を作ってみるという計画も。収穫した野菜で「あいごはん」を作るまで出来たらと考えています。無事に収穫できますように…。

若林地区担当理事 成澤 菜穂子

## 宮城野地区 & 日向養豚



数年前に「みんなであいごはん」で日向さんの豚さんへの接し方を知って心打たれ、それ以来、日向さんのファンになりました!!夏休みには親子で養豚場の見学を予定しています。また交流や見学・学習を通して「いただきます」の意味を肌で感じ、それを発信できたらいいなと思います。

宮城野地区担当理事 太田代 一世



今年は生産者との交流の場をたくさん設けて、体験、体感したことは各地区で開催する料理教室などでも皆さんにお伝えする予定です。Wa!わぁ祭りや地区企画で生産者から直接お話をさくチャンスもあります。是非、ご参加ください。きっと、お気に入りの商品が見つかるはず♪



あいこさん



### アースデイに出展しました

4/22～23日に仙台市錦町公園で開催されたアースデイ東北2017であいこブースを出展しました。「地球のことを考える」イベントらしく、脱原発エネシフ委員会が中心となって活動紹介を行ったブースは好評で、同時に行った加入のお誘いでも当日で15名の加入がありました。



あいこブース。ポテトチップスが人気でした。



たくさんの来場者があいこブースに興味を持ってくださいました。

### プチパーティを開きませんか

昨年からはまったあいこブースの「プチパーティ」。あいこブースの組合員ではないお友だち2名をお誘い下されば、ご自宅などにあいこブーススタッフが食材をもって伺います。調理は全部スタッフにおまかせ♪通常5000円相当の焼肉コースも、なんと2000円の開催料金で味わえます。リピーターも続出中。あなたもぜひ、体験してみてください。



プチメニューは「焼肉コース」の他、「チーズフォンデュコース」もあります。詳しくはチラシをご覧ください。お問い合わせ先 組合員コールセンター ☎0120-581-694





# 誰もが安心して暮らせる社会を

## 誰もが安心して暮らせる社会を

ケアメイト研修会  
報告  
「車いす体験と  
実習」

### 車いすに乗っている人の立場に立つて

#### コミュニケーションをとり、信頼関係を

5月16日・19日に今年度第一回目のケアメイト研修会が開催され、車いす体験実習と、総代会議案書を基に昨年の活動実績を振り返り、ホームヘルパー養成講座の再開等による地域福祉の多様な担い手作りを目指す今年度のジョイケアの活動方針を学びました。

車いす実習の講師は「社会福祉法人みんなの輪」居宅介護支援事業所「木もれび」の久保千恵子さんと山内春美さんにお願しました。最初に車いすの名称や開き方折りたたみ方等の説明を受けた後、二人一組になり、室内で交代で乗ったり押ししたりしました。車いすに乗った方のつま先や腕が壁や机の角に接触しない様に意外に注意が必要なことを体験しました。初めて車いすに触れたケアメイトさんの中には、乗ってみて普段との目線の違いに怖さを感じた方もいました。講師の助言で「乗っている人の立場に立つ



て気遣いながら声がけする等コミュニケーションの大切さ、信頼関係が大事」という言葉があり、心に響きました。

その後外に出て、スロープと段差の昇り降りも体験しました。スロープの下りは後ろ向きになり、ブレーキをかけながら少しずつ進みます。段差の乗り越え方はなかなか難しく、コツを丁寧に教えてもらいました。

普段何気なく通っている道の段差ですが、車いすで通ることの大変さを実感し、乗ってみることはとても貴重な体験でしたとの参加者の感想が多数ありました。

### 遺伝子組み換え作物問題



菜種の輸入港周辺でこぼれ種由来とみられる遺伝子組み換え(GM)ナタネの自生が確認されており、自生の拡がりや在来種との交雑を防ぐために、市民によるGMナタネ自生調査が全国で取り組まれています。私達も4月12日に仙台港、18日と23日に石巻港で調査を行いました。

仙台港では6人が参加、セイヨウナタネは見られずハタザオガラシのみで、全て陰性。移動の車内では遺伝子組み換え問題の新しい情報を聞けたり、話し合えたりと、得るものが多いひと時でした。

2015年春と冬の二回にわたりGMナタネが見つかった石巻のポイントでは、地区委員が抜き取って廃棄した後、ナタネが見られなくなりました。過去に見つかった別の場所は、復興工事で立ち入り禁止でした。花は咲いていたのでGMナタネでないことを祈るばかりです。これからも各地点で注意して見守り、引き続き調査をしていきます。

理事 辻朗子

### 理事会議事録抄

2017年4月18日(火)

▼総代会へ上程する一号議案2016活動報告の内容を確認した。▼同じく一号議案2016事業報告・決算報告・剰余金処分案の内容を確認した。▼同じく二号議案2017活動方針・計画の内容を確認した。▼同じく二号議案2017事業方針・計画・予算案の内容を確認した。▼同じく三号議案・四号議案の内容を確認した。

2017年5月9日(火)

▼総代会へ上程する各議案の最終確認を行なった。▼総代会の進行プログラム及び役割分担を確認した。▼「布おむつの会」発足企画書を承認した。▼「みやぎ地域共同発電所」事業に協力・参画する提案を承認した。▼新PB油揚げ試作、食材セツト試作に係る報告と提案を承認した。

### GMOフリーゾーン全国交流会iさが

GMOフリーゾーン全国交流会が3月5日・6日にかけて佐賀で開催され、あいコープから2名が参加しました。棚田の保全活動を行う大草秀幸氏の講演をはじめ、「大豆100粒運動」を展開する池田龍二氏の報告、そして Moms Across America のゼン・ハニーカット氏の講演がありました。ゼン氏を中心としたGMOフリーを掲げる活動は今や世界中で、様々な疾病に悩む子供を持つ母親たちの力になっていきます。今後とも全国の同じ志を持つ仲間たちと、しっかりとGM問題について活動を行う必要があります。



ゼンさんを囲んで。参加者一同、活動への意欲に満ちていました。

#### 組織概要

(2017年4月分)

|          |             |
|----------|-------------|
| 【組合員数】   | 13,170名     |
| 【供給高】    | 169,526千円   |
| 【一人実利用高】 | 5,206円/週    |
| 【出資金】    | 1,100,478千円 |



●ハード系で小麦をたくさん使った、かみぎたえのあるあいコープのパンが食べたいです。青葉区 高橋さん

今が旬！原木しいたけツアー

## 原木椎茸に対する熱い思いを感じました。



肉厚でおいしい原木椎茸を栽培している登米市の芳賀裕さんの圃場を見学してきました。

放射能対策のために九州から原木を購入し、ビニールハウスで栽培。出荷が再開されたのが2015年3月。2016年には裏山の斜面に砂利を敷き詰め、木の枝葉を除去し路地の圃場を試験的に再開したとのこと。芳賀さんの並々ならぬ苦労と、原木椎茸に対する熱い思いを感じることが出来ました。

露地圃場での初めての収穫体験は楽しかったです。昼食は地域の方たち手作りの茸汁、こごみの胡麻和えなどをごちそ

うになり、午後の体験へ。植菌作業と古いほど木のカットです。これはお土産にも出来ます。古いほど木といつても可愛い椎茸が私を連れてつと顔を出しています。さて、どの子を連れて帰りましょうか。

楽しい一日でした。これからも安全安心な肉厚原木椎茸が我が家の食卓に上ること間違いなしです。芳賀さん、準備してくださった皆さんありがとうございます。ありがとうございました。

泉 A 小原りき子



## 私たちが青葉 B エリア担当です



お世話になっております。青葉 B 地区エリアリーダーの鈴木清介です。エリアメンバーの紹介をします。上段右から入協 17 年目の私と、5 年目の岡崎茂大、入協 1 年目の佐々木裕基。下段右から入協 10

年目の安達茂樹、4 年目の高橋竜一、2 年目の佐々木弘大、にぎやかで笑いが絶えない 6 人チームです。みんなで支え合い、失敗をカバーし、成功を喜びあえる仲間たちです。これからも笑顔で元気にみなさまのお宅にお届けに伺います！

青葉 B 地区 エリアリーダー 鈴木清介

## 編集後記

「テロ等準備罪」なんて呼び方で、共謀罪法案が可決しました。またまた強行採決です。なんだかイヤな気持ちになってしまっ、組合員さんからたくさん頂いた枇杷の葉で染料を作って穏やかな気分になろう、と作業開始。丁寧に洗って、刻んで、グツグツ煮込んで。部屋いっぱい広がる枇杷の葉の香りだけで、すこぶる健康になったような気がします。それなのに、作業しながら「私たちの無知は政権の力」なんて言葉が頭をよぎったり。せつかくの幸せな時間なのに、もったいない。でも共謀罪を一般の主婦が本気で考えることも大事。

広報担当理事 高野 恵美子

### ●機関紙あいあいあいのご意見・ご感想

組合員番号、氏名、電話番号をお書きの上、配送もしくは FAX (022-284-6973) にて、あいコープみやぎ理事会へ広報宛にお送り下さい。

### 組合員の皆さんの『つばやき』も大募集中！

## ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100 円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。

個人で利用できるサービス(ささえあい/たすけあい/集団託児/慶弔・出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

### 組合員が利用できる電話相談

- 6/13 年金相談 .....  
相談員：社会保険労務士 兵藤政行氏  
相談時間：13:30～15:30
- 6/13 法律相談 .....  
相談員：弁護士 松澤陽明氏  
相談時間：13:30～15:30
- 6/20 ぐらしの相談 .....  
相談員：消費生活専門相談員 加賀淳子氏  
相談時間：10:30～12:30
- 6/27 子ども相談 .....  
相談員：宮城教育大学教授 菅井裕行氏  
相談時間：10:00～12:00
- 6/16 思春期相談 .....  
相談員：臨床心理士・スクールカウンセラー 北條貴子氏  
相談時間：9:30～11:30

お申込み・お問合せはジョイケア事務局へ  
022 284-7277 平日 9:00～17:00

### 電話相談について

- ▶各相談窓口前週の金曜日までに予約して下さい。随時受け付け可能です。
- ▶予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。

### ジョイケア利用状況 (2017年3月分)

|           |     |        |     |
|-----------|-----|--------|-----|
| ささえあい(保障) | 0件  | ◆集団託児  |     |
| たすけあい(ケア) | 42件 | 利用延べ人数 | 82名 |
| 集団託児      | 17件 |        |     |
| 慶弔・出産     | 16件 | ◆ケアメイト |     |
| 電話相談窓口    | 6件  | 稼働延べ人数 | 57名 |
| 計         | 81件 |        |     |



●同じ考えの人とお話ができるチャンスが多いあいコープ、すきです。

しおさい地区 小澤陽子



生産者 さんに **あい** に行こう! ⑨ 「のら牛」繁殖農家の巻



より自然な、良い環境で子牛を育てています



4月15日、「のら牛」の繁殖農家である加藤清夫さんの農場を訪問しました。理事とその家族、職員総勢15名が次々にパドックに入って行っても、放たれている牛たちはおびえる様子もなく、子どもでもすぐに触れ合うことができ、加藤さんが日々牛を慈

しんで育てていることが想像できました。

この日はもう一人の繁殖農家、高橋洋介さんの農場を訪れることはできませんでしたが、高橋さんも良質な粗飼料を与え、「のら牛プロジェクト」の目的に則った飼育を心がけています。経済動物であっても、より自然な良い環境で育てられている牛たちは、とても幸せそうでした。



田尻工コ畜産協議会 高橋 洋介さん

私は5年ほど前に親から畜産部門を引き継いで就農し、現在あか牛(褐毛和牛)と黒毛和牛の繁殖経営をしています。繁殖とは母牛に子供を産ませ、子牛を約10か月齢まで育てることです。あか牛は丈夫で病気などに強く温厚で飼育しやすい牛です。飼育する一番のこだわりは、自家製牧草をお腹いっぱい食べさせることです。牧草をたくさん食べることで牛は健康で病気もなく赤ちゃんも順調に産むことができます。今後も組合員の皆様にさらにおいしいお肉を安定して届けられるように、牛のより良い環境づくり、良質な牧草づくりに励んでいきたいと思ひます。

田尻工コ畜産協議会

加藤 清夫さん

私の家では昔から、農作業のための役牛として、そして堆肥を活用するために牛を一頭飼っていました。45年ほど前に、肉牛の繁殖を本格的に始めようと決心し、今に至ります。牝牛も一緒に飼って自然交配で繁殖しており、受胎率も高いと思っています。稲作もしているので、自分の田んぼの稲わらを牛に与えることができます。日本ではサシの入った牛肉が好まれますが、自家製100%の粗飼料をたっぷり食べさせた私たちの牛は、脂は少ないけれど適度な霜降りになり、あきのこないおいしい肉です。一般的には出回っていない牛肉なので、組合員のみなさんに喜んで食べてもらえたらうれしいです。



やさしい  
目を  
してるね

おじいちゃんが  
田んぼで育てた  
ワラだよ。  
たくさん食べてね。



Calendar \*今後のイベント\*

6/8 木

第29回通常総代会

場所/ エルパーク仙台 ギャラリーホール  
時間/ 9:45~12:00 参加費/無料

6/17 土

崎山 比早子氏講演会

低線量被ばくによる健康被害

場所/ せんだいメディアテーク 7F  
時間/ 13:30~16:00 参加費/無料

6/10 土

ながめやま牧場バスツアー  
緑の中で悠々を暮らす

放牧パスちゃんとふれあおう!

場所/ 山形県飯豊町

6/27 火

石けん環境委員会  
オープン定例会

石けんおはなしカフェ

場所/ あいコープみやぎ日の出町センター 2F  
時間/ 10:00~12:00 参加費/500円

地区委員さん募集中!  
一定例会見学も受付中~

地区委員会は

楽しい!  
おいしい!  
学べる!!

あいコープの仲間だから  
本音トークができます。

お問い合わせ先  
☎ 0120-255-044  
Fax 0120-849-324  
Email [soshiki@mamma.coop](mailto:soshiki@mamma.coop)



(担当: 組織運営室長 豊嶋)